

工業山内

コルク雑貨拡充

大人向けに2ブランド

自動車用ゴム部品・コルク製品製造の内山工業（岡山市中区小橋町）は、皮革や布のようなシート状のコルク素材（コルクレザー）を使った生活雑貨のラインアップを拡充した。ナチュラルな風合いに多彩な色柄をまとわせる新技術を採用。大人の男女向けに新たに二つのブランドを設定し、バッグやスマホケースなどを展開する。



新技術は特殊なプリント加工を施した後、

色落ちを防ぐために表面をコーティングする。京都市の染色加工会社と共同開発した。特許出願中。

40、50代男性に照準を合わせた

「ソルド」は、タレット端末ケース（税抜）大人の女性用バッグ（左）と男性向けタレット端末ケース。いずれもコルク素材に柄を施した

き1万2千円、7千円）とスマホケース（4500円）をそろえた。将来に向かって挑戦するといった内山工業の経営理念を英文にしてあしらった。

30、40代女性を対象に据える「エムスリーク」は、トートバッグ（1万8千円）やパスケース（2500円）など7品目。花とチョウの柄で上品なイメージを打ち出した。同社はこれまで「エ

コルク」ブランドでコルクレザーとデニムなどを組み合わせたバッグなどを販売。今後、百貨店などに販路を広げる考え。7、13日には岡山高島屋（岡山市北区本町）で展示即売会を開くほか、自社通販サイトも設ける予定。「首都圏での営業にも力を入れ、岡山発のコルク製品ブランドを確立したい」としている。（重成啓子）